

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成20年3月27日 (2008.3.27)

【公表番号】特表2007-526368(P2007-526368A)

【公表日】平成19年9月13日 (2007.9.13)

【年通号数】公開・登録公報2007-035

【出願番号】特願2007-500083(P2007-500083)

【国際特許分類】

C 0 9 K 19/42 (2006.01)

G 0 9 G 3/36 (2006.01)

G 0 2 F 1/13 (2006.01)

C 0 9 K 19/30 (2006.01)

C 0 9 K 19/34 (2006.01)

C 0 9 K 19/12 (2006.01)

【 F I 】

C 0 9 K 19/42

G 0 9 G 3/36

G 0 2 F 1/13 5 0 0

G 0 2 F 1/13 1 0 1

C 0 9 K 19/30

C 0 9 K 19/34

C 0 9 K 19/12

【手続補正書】

【提出日】平成20年2月4日 (2008.2.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1 2

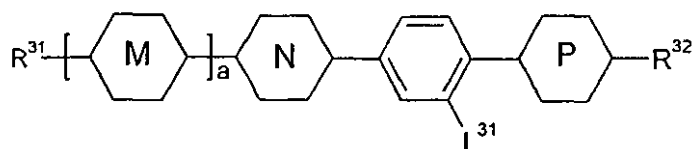
【補正方法】変更

【補正の内容】

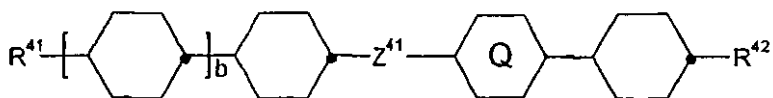
【請求項 1 2】

さらに、以下の化合物：

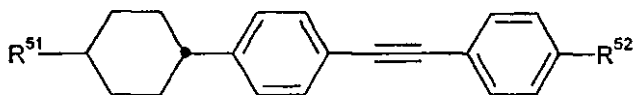
【化 1 3】



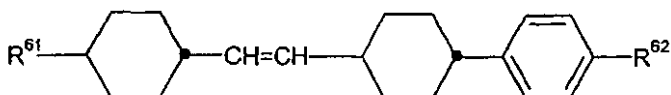
III



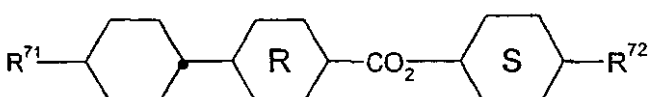
IV



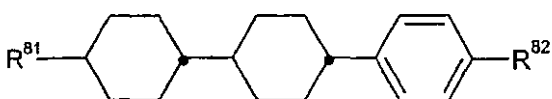
V



VI



VII



VIII

式中、

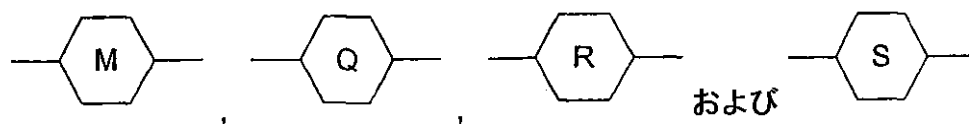
a および b は、互いに独立して、0 または 1 であり；

R^{31} 、 R^{32} 、 R^{41} 、 R^{42} 、 R^{51} 、 R^{52} 、 R^{61} 、 R^{62} 、 R^{71} 、 R^{72} 、 R^{81} および R^{82} は、互いに独立して、非置換であるか、またはハロゲンで単置換もしくは多置換されている $C_1 \sim C_{15}$ アルキルであり、ここで、 CH_2 基の 1 つまたは 2 つ以上は、互いに独立して、互いに隣接するヘテロ原子がないように、 $-O-$ 、 $-S-$ 、 $-CH=CH-$ 、 $-C \equiv C-$ 、 $-CO-O-$ 、 $-OC-O-$ により置換されていてもよく；

 L^{31} は、H または F であり；

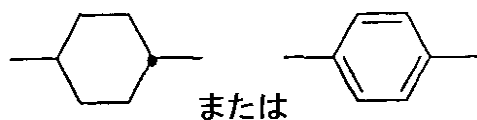
Z^{41} は、 $-CO-O-$ 、 $-CH_2O-$ 、 $-OCH_2-$ 、 $-CF_2O-$ 、 $-OCF_2-$ 、 $-CH_2CH_2-$ 、 $-CF_2CF_2-$ 、 $-CH_2CF_2-$ 、 $-CF_2CH_2-$ 、 $-CH=CH-$ または $-C \equiv C-$ であり；

【化 1 4】



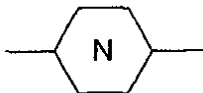
は、互いに独立して、

【化 1 5】



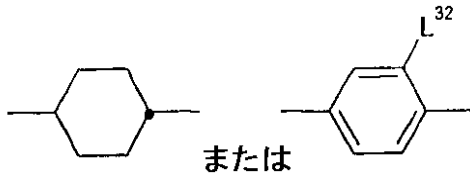
であり；

【化 1 6】



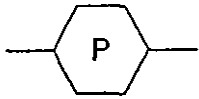
は、

【化 1 7】



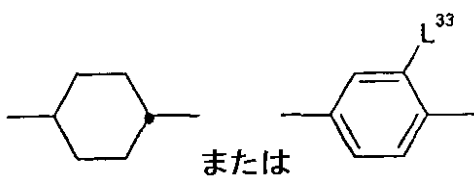
であり；

【化 1 8】



は、

【化 1 9】



であり、ここで、 L^{32} および L^{33} は、互いに独立して、HまたはFである、
 の1種または2種以上を含むことを特徴とする、請求項1～11のいずれかに記載の液晶
 組成物。